

(3) ブックトーク

12～卒業を前にして～

武蔵野市立境南小学校 編

実践事例	
1	実践した教科・領域等 : 国語
2	対象学年 : 小学校 第6学年
3	活用した書籍情報 : 「十二支のはじまり」長谷川摂子(文) 山口マオ(絵) 岩波書店 ほか
4	読書活動の実践の概要 : 全1時間 ① 12にまつわるクイズを解く。 ② 身近に12という数が使われているものを考える。・カレンダー・時計・干支・星座など ③ ブックトークを聞く。 (1)表紙絵を見せて、干支が12種類であることのいわれを紹介する。「十二支のはじまり」 (2)12星座の物語の1篇を読み聞かせする。「星座と神話」 (3)挿絵をみせながらあらすじを紹介する。「空へつづく神話」 (4)勇太が語るこの世界についての部分を読む。登場人物の紹介図を見せ、物語上での役割を説明する。「選ばなかった冒険～光の石の伝説」 (5)主人公が所属するリトルリーグの監督に母親が、コーチに兄が就任してからの悲喜こもごもについて紹介し、監督として魅力的な母の姿が伝わる部分を読む。「ロールパンチームの作戦」 (6)ある職業を紹介したページを見せ、自分の興味が生かせる仕事、その職業に就くための方法について知らせる。「なりたい自分を見つける！仕事の図鑑」 ④読んでみようと思う本に印をつける。(ワークシート) (なぜその本にしたか理由が書ける場合は記入する。) ⑤実際に本を選んで読書を始める。
5	活動のポイント ① 取り上げる本は、絵本・読み物のほか知識の本やビジュアルブックなど、いろいろなジャンルの本を対象にする。 ② 1単位時間(45分)のうち、終わりの15分間を選書して読書する時間としたい。
6	留意点 ブックトークでは、次の本を紹介するときのつなぎの言葉が大切である。唐突な紹介にならないようにしたい。
7	連携した諸機関 市内公共図書館 ・図書資料の団体貸し出しを受けた。